

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]

顎変形症患者での下顎頭にかかる応力分布に関する研究
—骨格形態による差異について—

[研究機関名・長の氏名]

北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属]

松下 和裕・北海道大学病院 高次口腔医療センター

[研究の目的]

顎変形症では、顎骨の形態変化に加え、多種多様な変化が顎関節にもみられます。そのため、それぞれの症例の顎関節の状況を十分に評価したうえで、治療計画を立てることが必要ですが、CT や MRI の画像情報以上の情報を得ることは困難で、これまでの経験則から判断して手術を行っております。

本研究では、当院整形外科で数多く実施されている CT osteoabsorptiometry (CT-OAM) 法*を顎関節に応用し、下顎頭での応力負荷の分布を客観的に評価する手法を取り入れ、一歩踏み込んだ今後の治療計画を立てることを目的とします。

*CT-OAM 法：軟骨下骨の骨密度を計測することで長期にかかる負荷を計測する方法。

当院整形外科で独自に作成。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

顎変形症の患者さんで、2012 年 4 月 1 日から 2023 年 7 月 31 日までの間に当院に通院又は入院し手術を受けられた方のうち、術前・術後に顎関節の CT 検査を受けられた方。術前の顎関節の CT 検査の時点で 20 歳以上の患者さん。

○利用する情報

以下の項目について、2023 年 7 月 31 日までの情報を利用させていただきます。
年齢、性別、診断名、手術術式、手術所見、画像検査結果（X 線、CT、MRI）

[研究実施期間]

実施許可日（情報の利用開始：2023年8月頃）～2026年12月31日

2023 年 7 月 11 日 (第 1.1 版)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 高次口腔医療センター 担当医師 松下 和裕

電話 011-706-4349 FAX 011-706-4349